

西武地区中学校の統合に関する 保護者説明会

日付 令和6年9月30日
場所 野田中学校体育館

目次

1. 学校統合について

- ・ 学校統合の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.3
- ・ 令和7年度の生徒数及びクラス数推計・・・ P.4
- ・ 統合の経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.6

2. 今後のスケジュール

- ・ 新校舎移転までのスケジュール・・・・・・・・ P.10

3. 統合の進捗状況

- ・ 通学路の安全対策について・・・・・・・・ P.14
- ・ 生徒交流について・・・・・・・・ P.15
- ・ 校章について・・・・・・・・ P.16
- ・ 制服について・・・・・・・・ P.17
- ・ 校歌について・・・・・・・・ P.18
- ・ 西武地区中学校 学校統合だよりについて・・・ P.19

1. 学校統合について

適正規模・適正配置で「教育の質」を下げない

少子化が進む時代の子どもたちに、本市の「豊かな人間性」を育成させるため、学校の適正規模・適正配置を考慮する必要があります。

適正規模・適正配置の第一の眼目は教育環境・教育条件を整えて「教育の質」を下げないことです。

本市における中学校の適正規模は、全学年合計10～18学級としています。

適正規模を維持するメリット

- ・適度な競争力を保持することで切磋琢磨し、一人一人の資質や能力をのばせる
- ・確かな教育水準を維持し、教育の機会均等が確保される
- ・クラス替えにより、人のつながりや友人関係が広げられる
- ・授業や体育祭などの行事を通じて、集団間の交流や向上心が育成できる
- ・多様な部活動を確保することができる

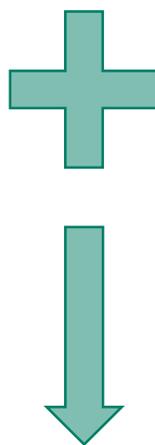
「入間市立小・中学校の規模及び配置の適正化に関する基本方針」(H26策定)より一部抜粋

令和7年度の生徒数及びクラス数推計（通常学級）

令和6年5月1日現在の児童・生徒数より

仏子小学校
6年生 35人(1クラス)

西武中学校
1年生 44人(2クラス)
2年生 36人(1クラス)



西武小学校
6年生 129人(4クラス)

野田中学校
1年生 109人(3クラス)
2年生 112人(3クラス)

新 西武中学校
1年生 164人(4または5クラス)
2年生 153人(4クラス)
3年生 148人(4クラス)

適正規模の維持が
可能となる

(参考) 学校統合地区検討会議と学校統合委員会

	学校統合地区検討会議	学校統合委員会
設置目的	<p>「入間市公共施設マネジメント事業計画」による学校の統合を行うに当たり、当該計画が地域に与える影響及び課題について地域ごとに住民の意見を聴取するため設置。</p> <p>児童又は生徒の通学上の安全確保その他の事業計画に係る課題等について検討及び意見交換を行う</p>	<p>「入間市公共施設マネジメント事業計画」に基づき、学校の統合を行うに当たり、調整が必要な課題について住民及び学校関係者の意見を聴取し、課題の検討及び調整を行い、円滑に統合を推進するため設置。</p> <p>学校の統合に係る諸課題に関する事項、その他学校統合に関し教育委員会が必要と認める事項について、意見を交換し、結果を教育長に提言する。</p>
設置期間 開催回数	令和元年7月～令和3年3月 計10回開催	令和4年7月～令和5年12月 計9回開催
構成	<ul style="list-style-type: none"> ○小・中学校PTA ○区又は自治会 ○民生委員・児童委員 ○公募 ○青少年健全育成推進会 ○保育所又は幼稚園等の保護者 ○狭山地方交通安全協会 <p style="text-align: right;">21人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○小・中学校PTA ○区又は自治会 ○青少年健全育成推進会 ○小・中学校長 ○学校評議員（学校運営協議会） ○その他 <p style="text-align: right;">22人</p>

統合の経緯 (1/3)

平成31年3月

「入間市公共施設マネジメント事業計画」策定

令和元年度
令和2年度

計画が地域に与える影響及び課題についての住民意見を聴取するため、「学校統合地区検討会議」を設置

令和3年3月

2年間で10回の学校統合地区検討会議を開催し、地域住民の意見を取りまとめた検討結果(報告書)を市長に提出

報告書の内容(一部抜粋)

- ・ 野田中学校に一時移転・統合し、その間に建替え、全体で新校舎へ移転
- ・ 登下校時の通学路の安全対策を講じる必要がある

学校統合地区検討会議での検討結果を踏まえ、市としての方針を協議

令和3年10月

市として、西武地区中学校の統合方針を決定

統合の方針

- ・ 令和7年度に野田中学校へ一時移転して統合する
- ・ 一時移転中に西武中学校を建替える
- ・ 令和11年度に新校舎へ移転する

【一時移転とした主な理由】

- ・ 生徒数の減少による教育活動の制約等を早期に解決するため
- ・ 生徒の安全を確保するため
- ・ 新校舎の建設費用の削減が見込めるため

統合の経緯 (3/3)

令和4年7月～
令和5年12月

学校統合に向けての諸課題について協議し、スムーズな学校統合を進めるため、学校統合委員会を設置

令和5年12月

9回の学校統合委員会を開催し、その協議結果を取りまとめた提言書を教育長に提出

提言書の内容(タイトルのみ抜粋)

1. 通学路の交通安全対策について
2. 統合後の学校の名称について
3. 制服について
4. 校章について
5. 校歌について
6. 通学方法について
7. 学校に設ける設備について

2. 今後のスケジュール

新校舎移転までのスケジュール

令和7年3月閉校

野田中学校

令和7年4月統合

新西武中学校
(一時移転)

令和7年3月閉校

西武中学校

新校舎移転

令和11年4月

令和7年度 校舎解体

令和8年度～令和10年度 新校舎建設

新しい時代の学び舎のグランドデザイン（1/2）

入間市教育委員会〔令和4年8月〕



入間市学校統合

新しい時代の学び舎のグランドデザイン

～ 「新しい時代の学習環境の整備」と
「地域とともにある学校」を目指して～

新しい時代の学び舎のイメージ

健やかな学習・生活空間

子どもたちの社会性・人間性を育む場として、ゆとりと潤いのある快適な空間を創造します。

柔軟で創造的な学習空間

教室のみならず、学校施設全体を学びの場として、多様な学びの姿に対応できる空間を創造します。

地域とともにある共創空間

学校と地域や社会が連携・協働できる場として、交流できる空間を創造します。

安心・安全な教育環境

未来を担う子どもたちの生命を守り、健やかに成長できるよう、すべての子どもたちが安心・安全に生活できる教育環境を目指します。

地球環境に配慮した教育環境

2050年脱炭素社会の実現に向けて、再生可能エネルギーの導入を推進し、環境教育での活用や地球温暖化対策に取り組みます。

新しい時代の学び舎のグランドデザイン（2/2）

新しい時代の学び舎に求められるもの

4 質の高い教育を
みんなに



【個別最適な学びと協働的な学びができる教室】

多様な学習形態や、子どもたちの学び合いを進めるため、次の設備等の整備を目指します。

- 教室等の広さ・形の工夫
- 大型モニターなどのICT機器の充実



10 人々の暮らしを
よりよく



【快適な生活空間】

すべての子どもたちが快適に学校生活を送ることができるようにするため、次の設備等の整備を目指します。

- トイレの洋式化
- 全教室へのエアコンの設置
- バリアフリー化
- 木質化



11 命を守るための
まちづくり



【地域とともにある学校】

地域の人々が集う学校、また避難所としての防災機能を強化するため、次の設備等の整備を目指します。

- 会議室（多目的室）の設置
- 体育館へのエアコンの設置



13 気候変動に
具体的な対策を



【地球環境に配慮した学校】

環境負荷の少ない「人と環境が共生する“まち”」を次世代へつなぐため、次の設備等の整備を目指します。

- 太陽光発電など再生可能エネルギーの導入



※ このグランドデザインは、入間市公共施設マネジメント事業計画に基づき、30年間にわたって入間市立小・中学校を統合していくにあたり、これからの学校に必要な設備や機能をまとめたものです。入間市教育委員会として、可能な限り実現できるよう努めてまいります。

3. 統合の進捗状況

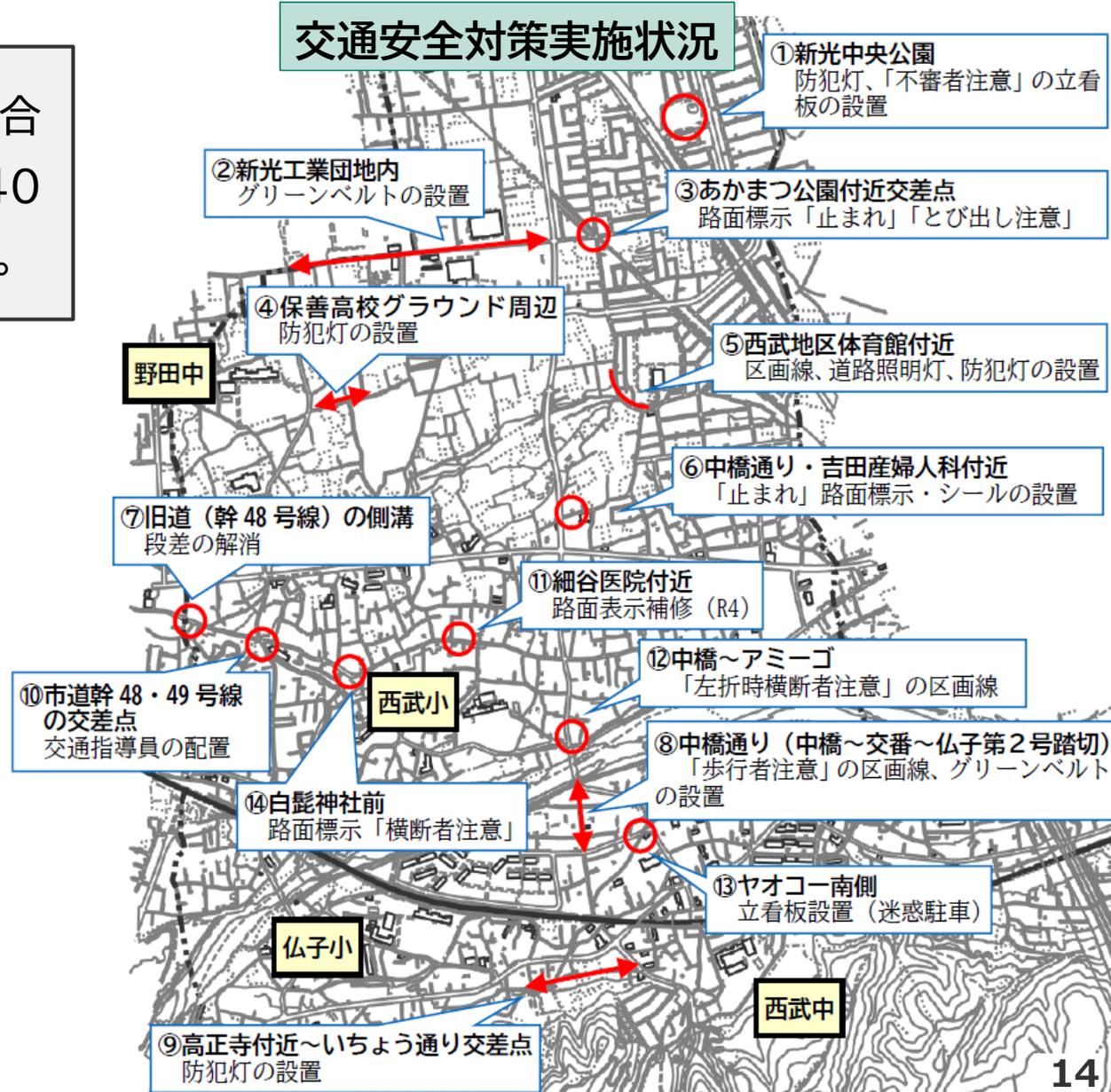
通学路の安全対策について

学校統合地区検討会議と学校統合委員会での協議を通じて、合計40か所の課題箇所が抽出されました。

順次対策を図っています

対応可能なものから、順次対策を図っています。令和5年度までに14か所に対策を行い、令和6年度は市道幹49号線(上橋通り)の一部にグリーンベルトとポストコーン(ラバーポール)を設置します。

交通安全対策実施状況



令和5年度から合計8回実施しました

令和5年度から、野田中学校や名栗げんきプラザを利用し、西武中・野田中生徒の交流行事を行っています。回を重ねるごとに生徒たちの表情が明るくなり、心の不安が軽減されつつあるようです。生徒からは「不安な気持ちが少し減った」「交流することが“特別なこと”という意識がなくなってきた」といった感想がありました。

統合後、生徒たちがスムーズに学校生活を送れるよう、今後も交流を行ってまいります。



野田中学校の校章を新校の校章とします

統合後の学校の校章については、統合委員会で協議いただいた結果(提言)を受け、西武中・野田中両校校長が協議し、野田中学校の校章とすることが決まりました。

提言書(一部抜粋)

1. 協議結果

- ①新たな校章を作る または
- ②野田中学校の校章を新校の校章とする

2. 理由

- ①新設校としてのスタートにふさわしいイメージの校章を、新たに作ることが望ましいと考えるため。
- ②野田中学校校章は、「ヒバリ」「けやきの葉」をモチーフとした、新校の校章にも適したデザインであるため。また、新校の校章に野田中学校の名残をとどめ、地域の歴史を承継したいため。



新しい制服のデザインが決まりました

学校統合委員会の提言をもとに、生徒・保護者向けのサンプル展示、業者によるプレゼンテーション、学校運営協議会の意見聴取を行い、新しい制服のデザインが決定しました。

提言書(一部抜粋)

1. 協議結果

次の意見を取り入れた、新たな制服を作っていたいただきたいこと。

- 安価であること
- 軽量であること
- 機能的であること
- デザインが良いこと

2. 理由

従来の制服よりも安価で機能的など、時代に合わせた、購入しやすい制服とするべきと考えるため。



新しい校歌を制作 公開に向けて準備中です

学校統合委員会で新校の校歌について検討し、「新校であるので、新たな校歌を作るのがよい」等の意見がありました。

「いるまのこどもへ贈る歌『どこから来たの?』」を作詞・作曲した杉山勝彦氏に、校歌の制作を依頼しました。生徒の意見を取り入れながら、制作に取り組んでいただいています。

杉山勝彦 氏

入間市出身の作詞・作曲・編曲家。

第59回日本レコード大賞「作曲賞」を受賞。

乃木坂 46、家入レオさんの他、多くの人気アーティストに楽曲を提供し、その楽曲は NHK 紅白歌合戦やドラマ主題歌としても歌唱されている。

平成30年1月に「元気な入間・生き生き功労賞」を受賞。平成30年11月には「いるまのこどもへ贈る歌『どこから来たの?』」を提供いただき、市内の小中学生をはじめ、市民に親しまれている。

西武地区中学校 学校統合だよりについて

第2号まで発行しました 今後も随時発行します

西武中学校と野田中学校の統合に関するお知らせ「西武地区中学校 学校統合だより」を第2号まで発行しました。今後も随時発行してまいります。

配付先・方法

1. 公共施設に配架

- 図書館西武分館
- 西武地区センター

2. リーバー/すぐーるで配信

- 西武地区の保護者
- 西武地区の児童・生徒

3. 市公式ホームページに掲載

令和6年5月

西武地区中学校 学校統合だより 第1号

西武中学校と野田中学校の統合について、お知らせします。このお知らせは、今後も随時発行してまいります。市公式ホームページにも関連情報を掲載していますので、合わせてご覧ください。

■西武地区中学校の統合について

令和7年度に西武中学校と野田中学校を統合します。統合後は、令和10年度までは、現在の野田中学校を使用し、令和11年度からは現在の西武中学校を建て替えたうえで使用します。統合後の学校名は西武中学校、校章は現在の野田中学校のもの新校の校章とします。制服は新しいデザインに、校歌も新しい校歌を制作します。

	令和7年度	令和8～10年度	令和11年度～
現西武中学校	閉校	建築工事	新校舎の供用開始
現野田中学校	閉校 西武中学校として閉校		新校舎に移転

■統合に向けた地域協働の経過について

平成29～30年度	公共施設マネジメント事業計画の策定に向けた懇話会・意見交換会などが開催されました。
平成31年3月	公共施設マネジメント事業計画が策定されました。
令和元～2年度	自治会、P.T.A.、学校の代表者等が、統合の進め方や、配慮が必要な事項を協議しました。
令和3年4月	協議をまとめた報告書が市に提出され、「西武中学校にいながら構工事の案と野田中学校への一時移転案を検討した結果、工事中の生徒の安全面や金銭的なコストを考慮し、一旦野田中学校の校舎を借用して早期に統合し、西武中学校の位置に新校舎を建築した後野田中学校から移転する方法を検討します」との内容でした。
令和3年10月	検討会議の報告を受け、市は、野田中学校を利用して統合し、西武中学校を建て替えた後に野田中学校から移転する方法で進める方針を決定しました。
令和4～5年度	自治会、P.T.A.、学校の代表者等が、学校名、通学路の交通安全対策などを協議しました。
令和5年3月	統合後の学校名を「西武」とする意見がとりまとめられ、教育長に提言書が提出されました。
令和5年8月	統合後の制服は「安楽」「軽量」「機能的」「よいデザイン」との意見を取り入れた新しい制服とすることの提言書が教育長に提出されました。
令和5年12月	協議内容をとりまとめた提言書が教育長に提出されました。

令和6年7月

西武地区中学校 学校統合だより 第2号

西武中学校と野田中学校の統合について、お知らせします。このお知らせは、リーバー・すぐーるでも随時配信してまいります。市公式ホームページにも関連情報を掲載していますので、合わせてご覧ください。

■制服について

制服については、生徒・保護者向けのサンプル展示、業者によるプレゼンテーション、学校運営協議会の意見聴取を行いながら、新しい制服の決定に向け、新部も調整しています。ジャージ・体操着のデザインについては、サンプルが上がってきたところで、近日中に決定予定です。



■生徒交流について

令和6年4月24日に、「名栗げんきプラザ」で2年生が交流しました。あいにくの天気でしたが、室内でグループチャレンジを行いました。グループで様々な課題(ゲーム)に取り組みました。両校生徒が交流できるようなグループ編成し、課題解決をしていく中で、令和6年6月24日には、野田中学校で1年生が交流しました。ドッチボール等、レクを行い、9月には1年生が「名栗げんきプラザ」で野外活動を行う予定です。今回は4月に行われたグループチャレンジの様子を一部紹介します。

～先生からレクチャー～
制限時間内にできるだけ多くのポイントを取り、高得点を獲得できるよう、チームで作戦会議！チャレンジマップを見ながら、1層から3層に分かれていよいよスタート。

～ビーチボルトス～
グループ全員が必ず1回はボールを打たなければなりません。落とさずに20回以上できましたか？

～長縄跳び～
各チームチャレンジは3回まで、全員で15回以上連続で跳べたら最高得点を獲得できます。長縄跳びは今回のチャレンジの中で難易度が高く、リーダーシップやチームワークが試されました。

ご清聴ありがとうございました。

今後もスムーズな学校統合に向け準備を進めて参ります。

部活動について

現在の部活動

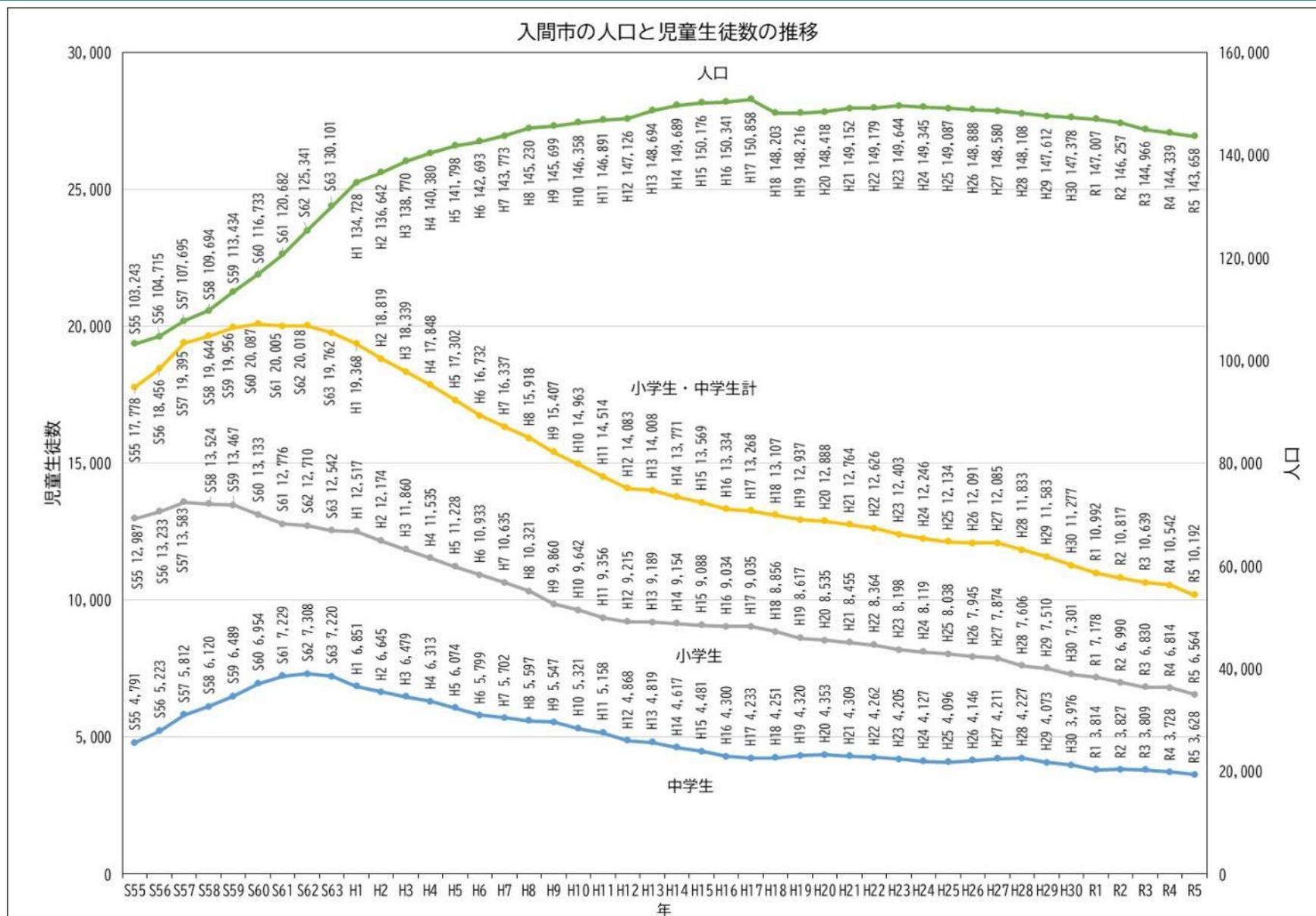
西武中学校

- バスケットボール部(男・女)
- テニス部(男・女)
- バレーボール部(女)
- 駅伝部
- 総合芸術部
- 煎茶道部
- 明星部

野田中学校

- バスケットボール部(男・女)
- テニス部(男・女)
- バレーボール部(女)
- 野球部
- サッカー部
- 剣道部(男・女)
- 卓球部(男)
- 美術部
- 吹奏楽部
- 茶道部

(参考) 入間市の人口と児童生徒数の推移



政府統計（学校基本調査）・埼玉県統計（推計人口）から作成。
 学校基本調査は入間市立学校以外の児童生徒を含む。

事前にいただいた質問内容

Q1

ICT環境の整備状況と方向性を教えて欲しい。
説明会に限らず保護者会や三者面談などオン
ライン化してもらうことで出席しやすくなる

Q2

PTAの活動方針を教えて欲しい。PTA解散している学校や市町村が増えてきている。くじ引きで役員を決め、漫然と例年通りの活動をしている当校の現状は時代に合っていないと思うが、市や学校はどのように考えているのか教えて欲しい

Q3

統合後の野田中にはどのような部活動があるか知りたいです。

Q4

仮校舎の再利用の可能性はありますか？

Q5

学総前に合併となりますが、部活のチーム編成はどのようになりますか？合同メンバーでのチームになるとしたら、ポジションなども含めレギュラー争いになってしまうのでしょうか？また、実力順に考えるのか、野田中と西武中平等に考えるのか。

もし、別々のチームで大会に参加するとしたら、練習時点で溝ができてしまうような気がします。子ども達がとても気にしている問題です。どのようにお考えでしょうか？

Q6

親の仕事が休みの日は登下校の送迎を考えています。その際、下校時間の確認のためにスマホを持たせることは可能でしょうか？